

令和5年度「総合的な探究の時間」年間指導計画

学校名	富山県立滑川高等学校			学校番号	6
学 科	普通科	学年	2年	学 級 数	2
名 称	滑高ゼミ（国文学）			単位数	1

月	単元名	主な学習活動	担当者	予定時数	備 考
4	近現代文学の読解と研究	<ul style="list-style-type: none"> 近現代文学の中から夏目漱石、芥川龍之介、太宰治等、作家を一人選び、作品の特徴や問題意識などを探究する。 小説を読み味わう楽しさを知る。 読んだ作品について要約して発表する。 先行研究の取り扱いを学ぶ。 その時代の社会のあり方について学び、現代と比較する。 現代にも通じるテーマを学ぶ。 	国語科	3	担当者を決めて、調べてきたことを発表するゼミ形式
5				3	
6				4	
7				3	
9	芥川賞・直木賞受賞作品の読解	<ul style="list-style-type: none"> 芥川賞・直木賞受賞作品一覧から興味を持ったものについて読解し、文学的価値について共有する。 		4	グループワークを取り入れる。
10	現代文学の読解と研究	<ul style="list-style-type: none"> 平成以降の文学の中から作家を一人選び、作品の特徴や問題意識などを探究する。 小説を読み味わう楽しさを知る。 読んだ作品について要約して発表する。 その作品が支持される背景に現代のどのような特徴が読み取れるか話し合う。 		4	担当者を決めて、調べてきたことを発表するゼミ形式
11				4	
12				2	
1				2	
2				4	
3	ブックトーク	<ul style="list-style-type: none"> 各自好きな作品、すすめたい作品についてブックトークを行う。 		2	プレゼンテーション形式

令和5年度「総合的な探究の時間」年間指導計画

学校名	富山県立滑川高等学校			学校番号	6
学 科	普通科	学年	2年	学 級 数	2
名 称	滑高ゼミ（社会学）			単位数	1

月	単元名	主な学習活動	担当者	予定時数	備 考
4	現代に生きるわたしたちの課題	情報化社会や国際化、少子高齢化など現代の社会の特徴について理解を深め対策等について考察する。 「情報化の進展と生活」 「地域社会の国際化」 「少子高齢社会をむかえて」 「社会生活と青年」など	地歴・公民科	3	担当者を決め、調べてきたことを発表するゼミ形式 考察した内容についてまとめ、レポートを作成する
5				3	
6				4	
7				3	
9				4	
10	現代に生きる私たちの課題	情報化社会や国際化、少子高齢化など現代の社会の特徴について理解を深め対策等について考察する。 「情報化の進展と生活」 「地域社会の国際化」 「少子高齢社会をむかえて」 「社会生活と青年」など	地歴・公民科	4	担当者を決め、調べてきたことを発表するゼミ形式 考察した内容についてまとめ、レポートを作成する
11				4	
12				2	
1				2	
2				4	
3				2	

令和5年度「総合的な探究の時間」年間指導計画

学校名	富山県立滑川高等学校			学校番号	6
学 科	普通科	学年	2年	学 級 数	2
名 称	滑高ゼミ (時事英語)			単位数	1

※半期で生徒が替わるため、10月以降は4～9月と同じ内容で行う。

月	単元名	主な学習活動	担当者	予定時数	備 考		
4	Making news	英語圏のニュースを視聴し、内容や構成を学習する	英語科	3	グループで調べたことを英語で発表。ALTとの共同授業を展開。		
5		班に分かれ、日本語の新聞からいくつかのニュースを選び、英語に翻訳する。		3			
6	Presentation	班毎に、1つのニュースを選び、内容についてより詳しく調べる。発表原稿やポスターを完成させ、発表の練習をする。		4			
		7		3			
		9		4			
10	Making news	英語圏のニュースを視聴し、内容や構成を学習する		英語科		4	グループで調べたことを英語で発表。ALTとの共同授業を展開。
11		班に分かれ、日本語の新聞からいくつかのニュースを選び、英語に翻訳する。				4	
12	Presentation	班毎に、1つのニュースを選び、内容についてより詳しく調べる。発表原稿やポスターを完成させ、発表の練習をする。				2	
1		2					
2		4					
3		2					
		ポスターを用いながら、英語で発表する。					

令和5年度「総合的な探究の時間」年間指導計画

学校名	富山県立滑川高等学校			学校番号	6
学 科	普通科	学年	2年	学 級 数	2
名 称	滑高ゼミ（生物工学）			単位数	1

※半期で生徒が替わるため、10月以降は4～9月と同じ内容で行う。

月	単元名	主な学習活動	担当者	予定時数	備 考		
4	生物工学	無菌操作を習得し、大腸菌を試料として培養・抗菌試験を行う。 (1) 生物工学概論 (2) 無菌操作 (3) 培地の作成および植菌 (4) マスタープレートの作成 (5) 微生物の同定法 (6) 抗菌試験	薬業科	3	レポート		
5				3			
6				4			
7	遺伝子工学	身近なものからDNAを抽出し、その特定部位をPCR法で増幅させ、電気泳動で確認を行う。 (1) 遺伝子工学概論 (2) DNA抽出 (3) PCR法 (4) 電気泳動 (5) 論文講読		3			
9				4			
まとめ				レポート発表			
10	生物工学	無菌操作を習得し、大腸菌を試料として培養・抗菌試験を行う。 (1) 生物工学概論 (2) 無菌操作 (3) 培地の作成および植菌 (4) マスタープレートの作成 (5) 微生物の同定法 (6) 抗菌試験	薬業科	4	レポート		
11				4			
12				2			
1	遺伝子工学	身近なものからDNAを抽出し、その特定部位をPCR法で増幅させ、電気泳動で確認を行う。 (1) 遺伝子工学概論 (2) DNA抽出 (3) PCR法 (4) 電気泳動 (5) 論文講読		薬業科		2	レポート
2						4	
3						まとめ	

令和5年度「総合的な探究の時間」年間指導計画

学校名	富山県立滑川高等学校			学校番号	6
学 科	普通科	学年	2年	学 級 数	2
名 称	滑高ゼミ（簿記概論・情報概論）			単位数	1

月	単元名	主な学習活動	担当者	予定時数	備 考
4	簿記の必要性 企業の財産	簿記の歴史をとおして記帳の必要性を理解する。 貸借対照表を作成し、資産・負債・資本の相互関係を理解する。	商業科	3	商学部、経営学部、経済学部系の学問に関連している。 記帳練習は最小限度にしぼり、複式簿記の全体の流れの理解を図る。
5	企業のもうけ	損益計算書を作成し、収益・費用の相互関係を理解する。		3	
6	仕訳と転記	仕訳の記入方法を理解する。 転記のしかたを理解する。		4	
7	試算表	試算表の作成を理解する。		3	
9	精算表	精算表の作成方法をとおして、複式簿記のしくみを理解する。		3	
	レポート作成	テーマ毎にレポートを作成、提出		1	
10	論理演算と論理回路	・コンピュータは論理回路の集合体であることを理解する。 ・基本回路とその基本回路の組み合わせを理解する。	商業科	4	情報工学分野の学問に関連している。 情報処理、通信・情報ネットワークの基礎となる知識を習得する。
11	システムの運用と保守	システムの性能評価とシステムの信頼性の必要性を理解する。		4	
12	・IPアドレス ・クラスとサブネット分割	・TCP/IPネットワークの仕組みを知る。 ・IPアドレスのクラスを理解する。		2	
1	セキュリティ	ネットワークの脅威を知り、不正アクセスを防ぐ対策を理解する。		2	
2	暗号化と電子署名の仕組み	共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式を理解する。		4	
3	レポート作成	テーマ毎にレポートを作成、提出		2	

令和5年度「総合的な探究の時間」年間指導計画

学校名	富山県立滑川高等学校	学校番号	6
学 科	普通科	学 年	2 年
名 称	滑高ゼミ（海洋科学・機械設計工作）	単位数	1

月	単元名	主な学習活動	担当者	予定時数	備 考
4	海洋と生活	①海洋の知識 海の成り立ち、海と人間とのかかわり、人間に果たす役割・文化・産業等について調べる。 ②食品としての水産物 水産物の特性、栄養について調べ、魚食文化や食育について考える。	海洋科	3	
5				3	
6				4	
	海洋の科学	①海洋と気象・海水組成 海洋環境が気象や気候に与える影響や津波等による被害、海洋深層水利用等について考える。 ②海洋の資源・エネルギー 海底の化石燃料、メタンハイドレート等の資源、波力、潮力、風力を利用したエネルギー利用を考える。 ③海洋と環境問題 エルニーニョ、異常気象の各現象、油汚染、漂流ゴミ等の環境問題について考える。		3	
7				4	
9				4	
	機械力学と流体力学	①機械力学 機械に働く力と運動、仕事とエネルギーの関係、機械効率等について考える。 ②流体力学 流体の圧縮性と粘性、ベルヌーイの定理等について考える。		4	
10				4	
11				2	
12	機械加工、手仕上げ、組み立てと測定	①工作機械の種類と取扱い ②手仕上げと組み立て けがき作業、やすり作業など ③測定機器の種類と計測方法	2		
1			4		
2			2		
	電気と自動制御	①電気の配線図を理解し、その応用について考える。	4		
3			2		
	まとめ	②学習した知識や技能をもとに模型などの工作を行い、成果物とする。			